

2021 富士大学地域創生論

花巻市の現状と課題

2021年7月15日
花巻市長 上田 東一

映画「海街Diary」ロケ地 市内向山森林公園展望台より撮影

—目次—

—頁—

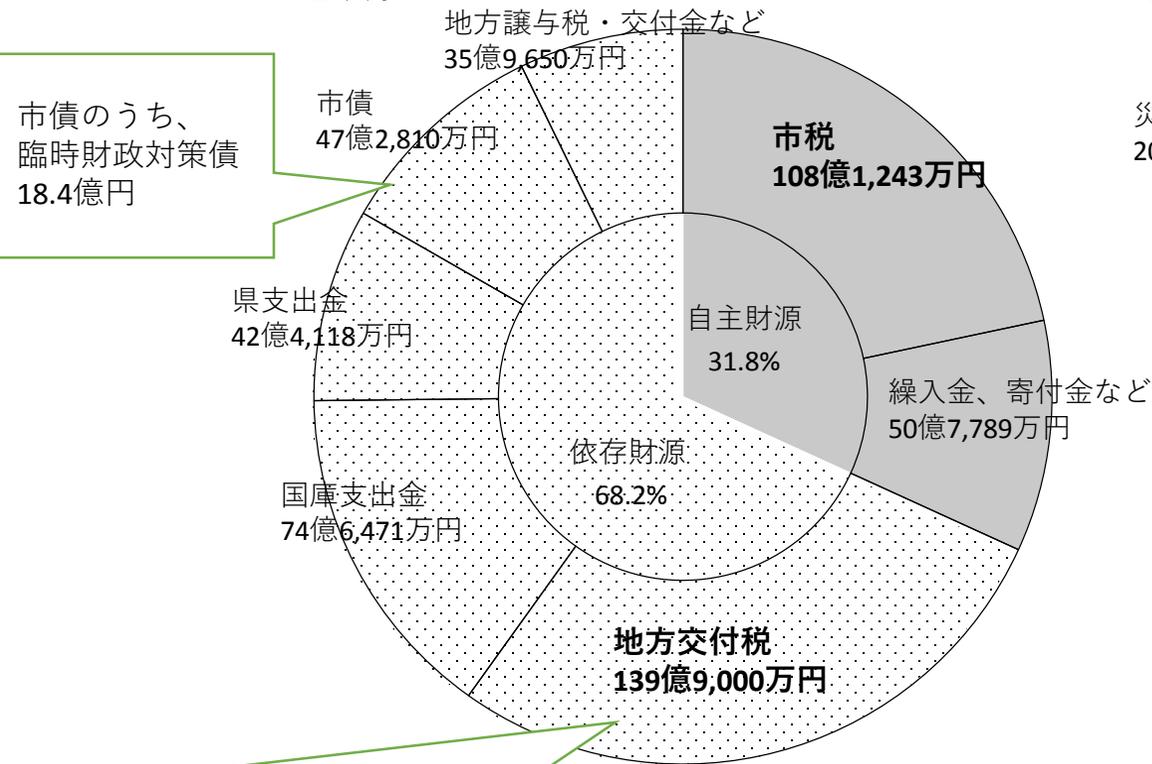
◎ 花巻市の財政の状況	-3-
◎ 市の人口動態について	-5-
◎ 花巻市立地適正化計画の概要	-7-
◎ 令和3年度の主な施策	- 9 -

- | | | |
|------------------------|-------------------|-------------|
| ・新花巻図書館整備の整備検討 | ・ワインとぶどうを核とした産業振興 | ・母子保健の推進 |
| ・JR花巻駅東西自由通路（半橋上駅） | ・スマート農業の推進 | ・妊産婦交通費支援 |
| ・国道4号拡幅・スマートインターチェンジ整備 | ・就業・新規就農支援制度 | ・保育環境の充実 |
| ・恵まれた交通網を生かした立地環境の整備 | ・結婚新生活支援制度 | ・教育支援・奨学金制度 |
| ・公共交通ネットワーク | ・地域おこし協力隊 | ・助産師確保対策 |
| ・道の駅「石鳥谷」施設再編 | ・地域おこし研究所の開設 | |
| ・優良な住環境の整備 | ・新型コロナウイルス感染症への対応 | |
| ・住宅取得支援制度 | | |

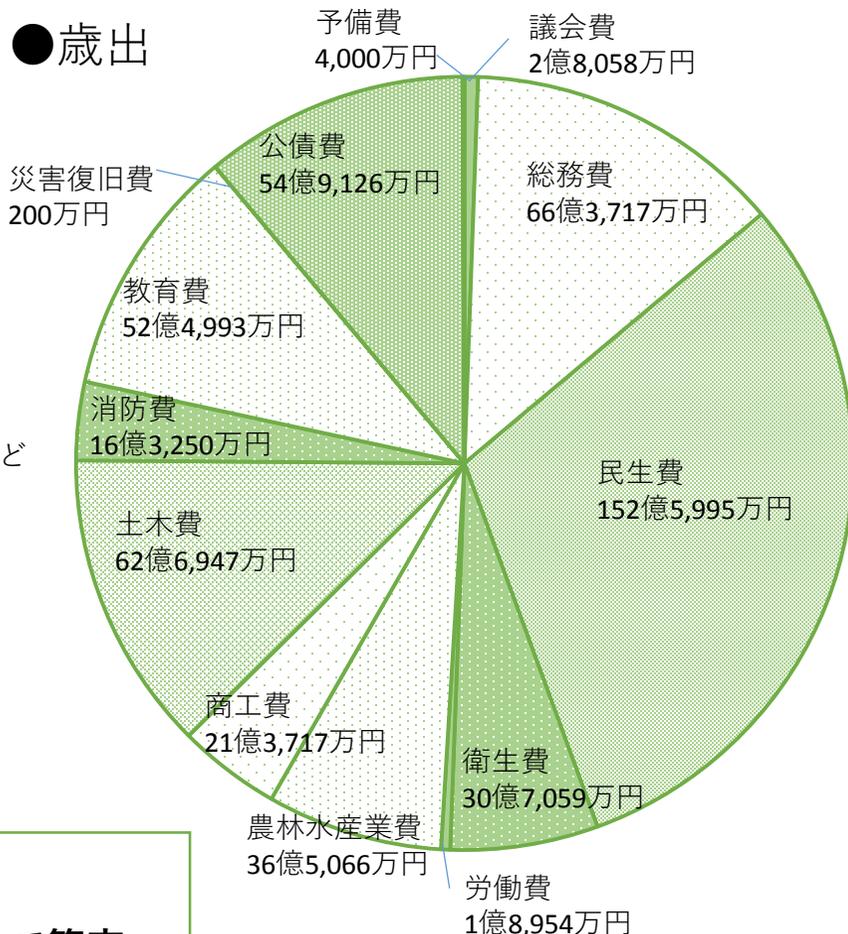
花巻市の財政の状況

◆令和3年度花巻市一般会計予算 **499億1,081万円** (7月1日現在)

●歳入



●歳出



地方交付税のうち普通交付税は？

「**基準財政需要額**」 から 「**基準財政収入額**」 を差し引きして算定

(行政運営に必要な標準的経費)

(その団体の標準的な税等収入)

令和2年度における花巻市の

基準財政需要額は240億円、基準財政収入額は114億円

花巻市の財政の状況

■基金の状況（財政調整基金、減債基金、まちづくり基金）

基金の名称	基金残高 (令和元年度決算)	基金残高 (令和2年度決算見込み)
財政調整基金	6,600,533千円	7,106,206千円
減債基金	1,167,218千円	1,164,450千円
まちづくり基金	5,222,383千円	5,801,957千円
合計	12,990,134千円	14,072,613千円

財政調整基金は、コロナ対策等、国県の支援を待たずに必要な施策を実施するため確保

■市債の状況

市債の名称	市債残高 (令和元年度決算)	市債残高 (令和2年度決算見込み)
合併特例債	17,839,914千円	18,393,311千円
辺地対策事業債	169,250千円	219,908千円
過疎対策事業債	5,686,566千円	5,978,385千円
臨時財政対策債	18,763,663千円	18,310,777千円
その他の市債	14,585,065千円	14,198,518千円
合計	57,044,458千円	57,100,899千円

充当率95% 元利償還70%

充当率100% 元利償還80%

充当率100% 元利償還70%

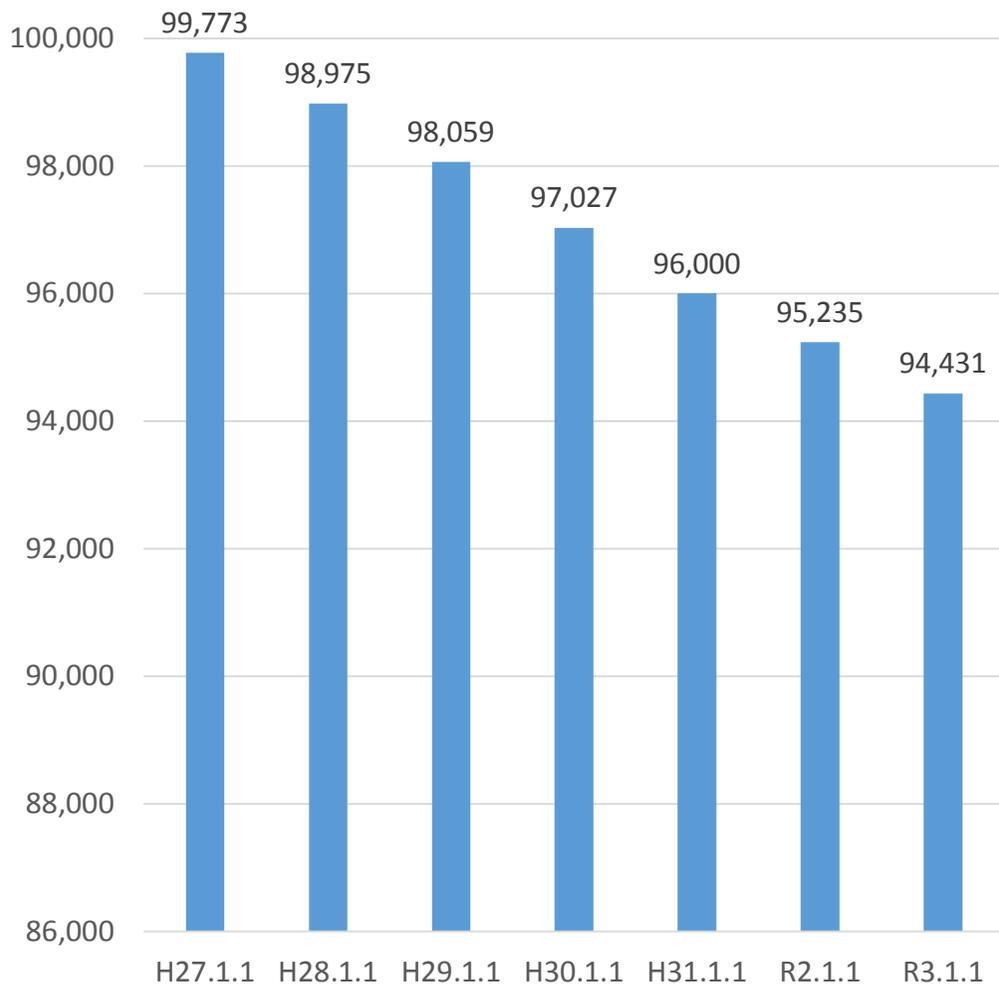
充当率100% 元利償還100%

財政上、非常に有利な
地方債を活用

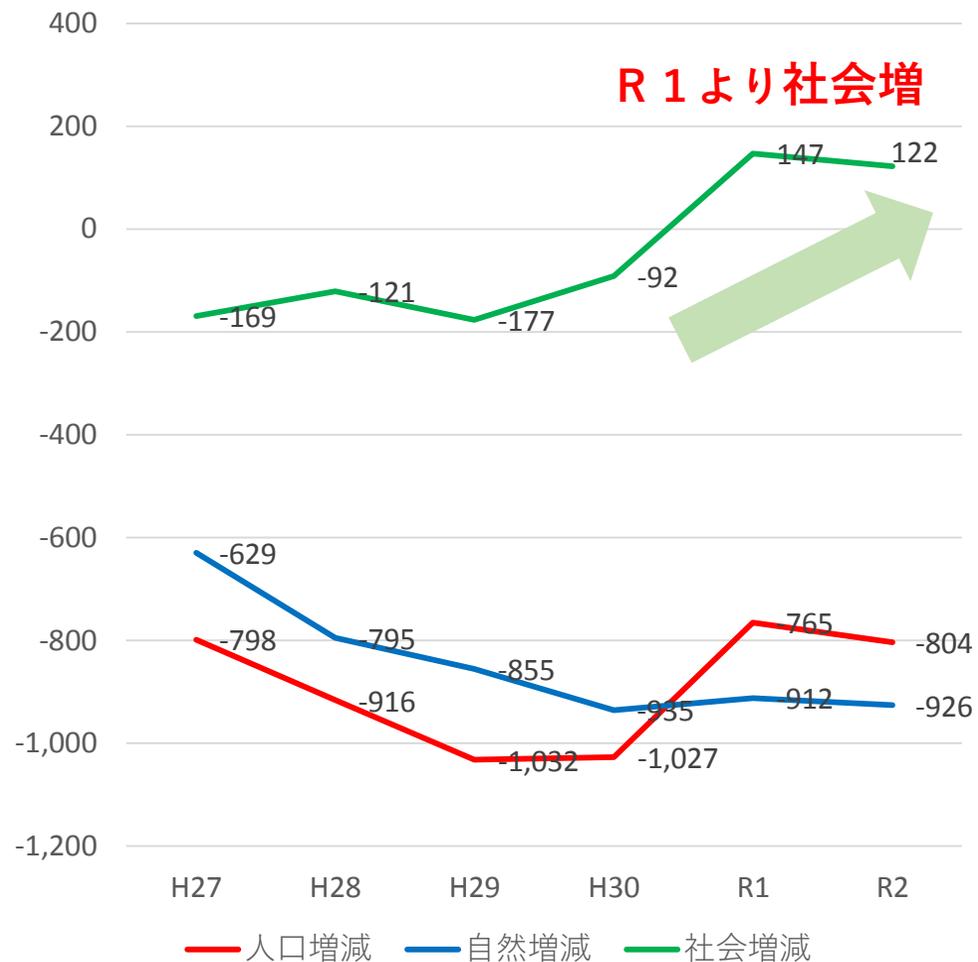
■市債の残高と実質的将来負担額の推移

	令和2年度	令和3年度
市債残高（年度末見込額）	57,100,899千円	57,741,544千円
うち実質的将来負担額	14,578,201千円	13,553,918千円

花巻市の人口



花巻市の人口動態



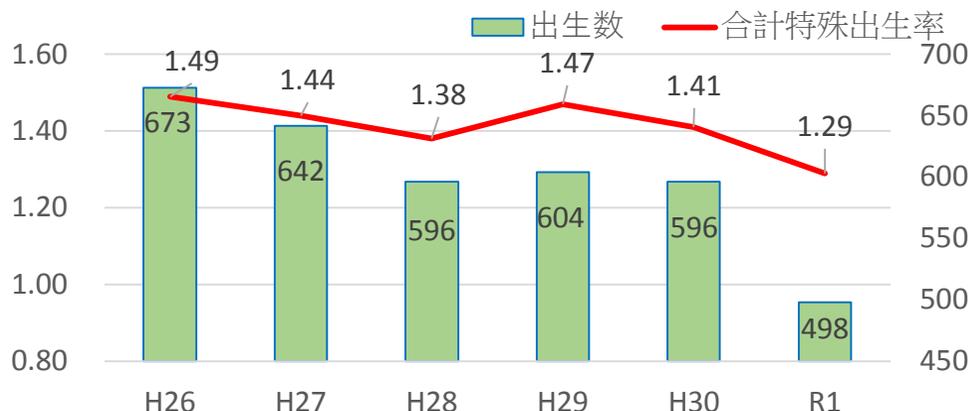
出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※R2 数値は総務省で未発表のため、花巻市の住民基本台帳調べ

花巻市の人口動態 ②

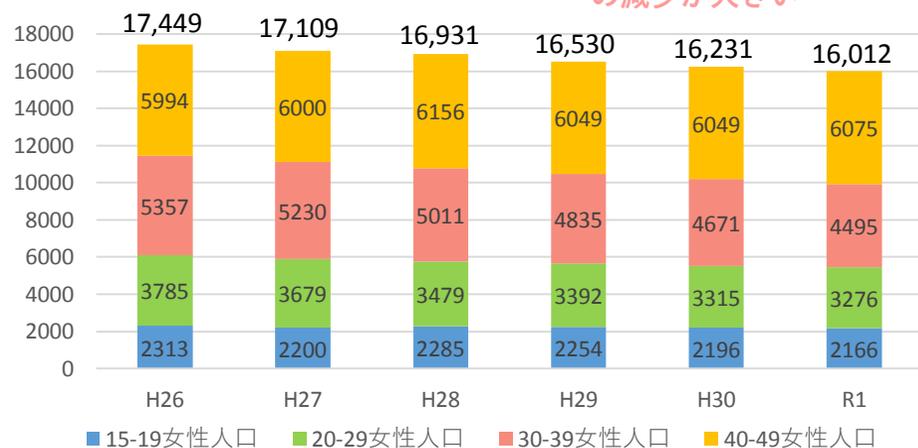
花巻市の合計特殊出生率と出生数



出生率は横ばいも出生数は減少傾向

出典：岩手県保健福祉年報

花巻市の15-49女性人口

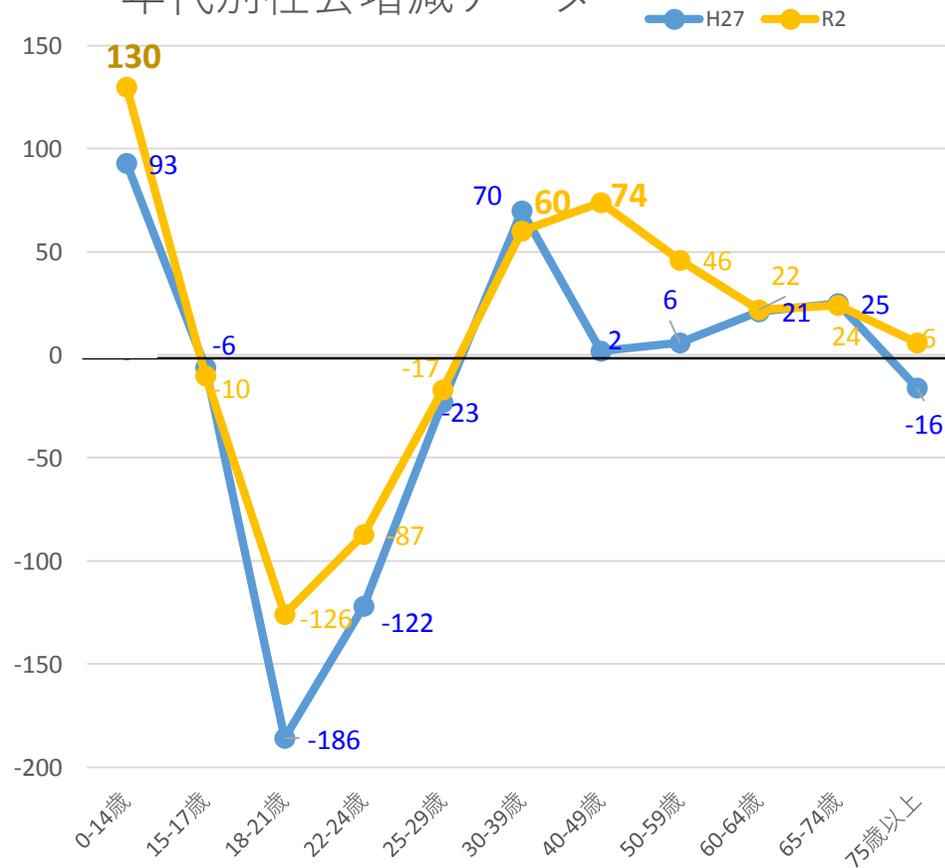


女性人口（特に20代、30代）の減少が大きい

出典：岩手の長期時系列データ

75歳以上の高齢者数は今後も増加する一方で出生数は減少傾向にある

住民基本台帳による年代別社会増減データ



出展：花巻市住民基本台帳による調べ

30代・40代、さらに14歳以下も転入超過となっており子育て世帯の転入が増えているとみられる

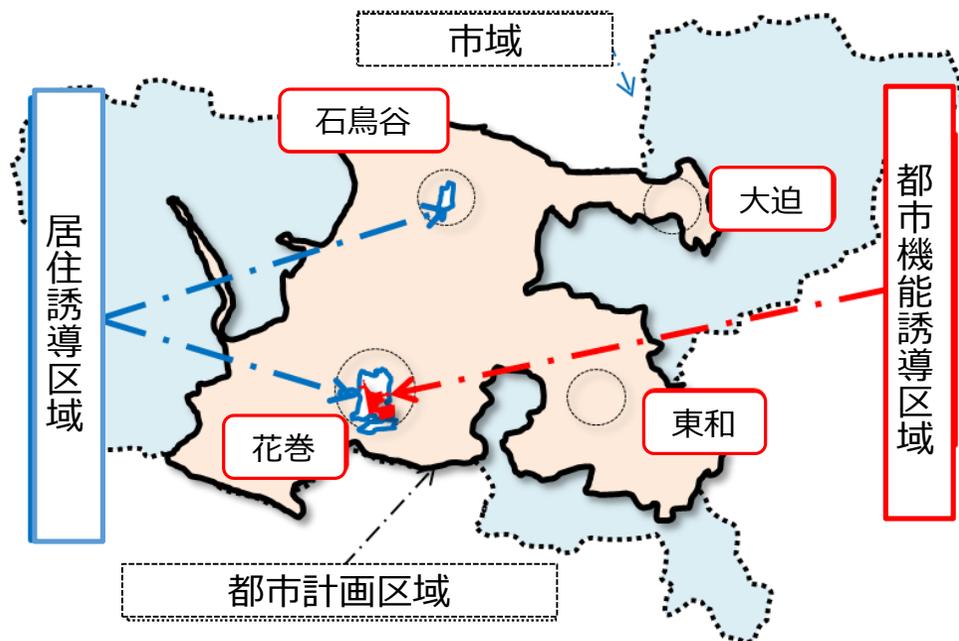
立地適正化計画

医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し

または、高齢者はじめ住民が自家用車に過度に頼ることなく公共交通により医療・福祉施設や商業施設等にアクセスできるなど

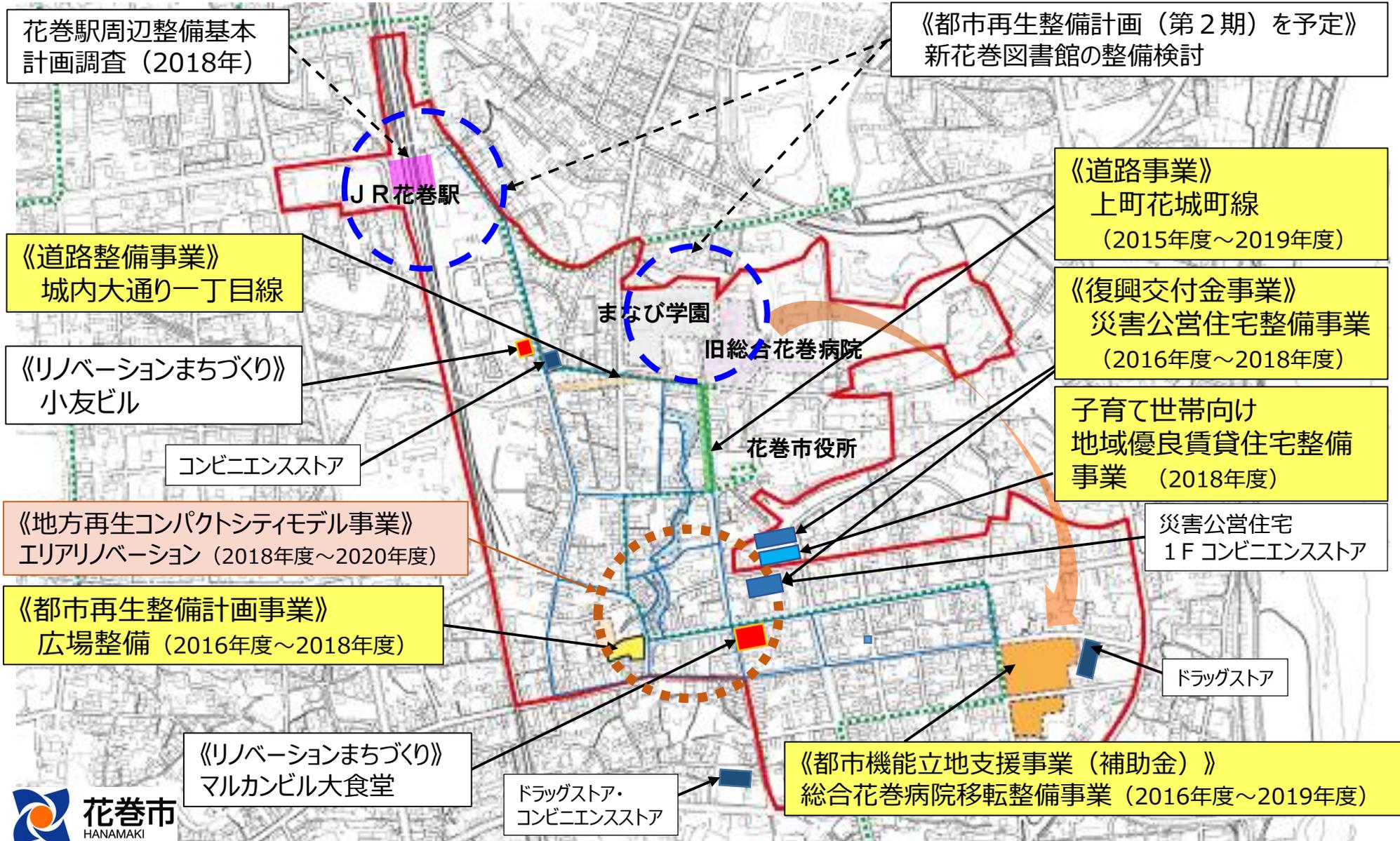
日常の生活サービスや行政サービスが身近に存在する国が「コンパクト＋ネットワーク」の形成を推進
計画策定した市町村等を国土交通省が総合的に支援

花巻市立地適正化計画 (2016年6月、全国で3番目に策定)



- 4地区中心部 生活サービス機能を維持・ネットワーク
⇒ 4地区のまちなかの維持
- 居住誘導区域 → 花巻、石鳥谷の2地区に設定
分散した立地を抑制 / 一定の人口密度を保つ
- 都市機能誘導区域 → 花巻地区に設定
市全域から利用しやすい地区に総合的・公共公益
機能を維持・整備
(整備には国の財政的支援)
- その他
公共交通、リノベーションまちづくりなど方向性を記載

花巻市立地適正化計画の概要② 都市機能誘導施設、関連整備事業



■ 目的

- 市民一人ひとりの生活、子供の読書活動などを支援し、情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を建設

新花巻図書館整備基本計画の構成案

- 1 新花巻図書館整備の背景
- 2 新花巻図書館整備の基本方針
- 3 新花巻図書館の整備計画
- 4 建設場所（建設場所を定める）
- 5 事業費（事業費の概算を定める）
- 6 施設の規模（必要なスペースの面積を定める）
- 7 具体的な空間計画（各スペースの機能や設備を定める）など

■ 取り組み内容

- 2011年12月 「図書館整備市民懇話会」設置（公共的団体・図書館関係者・公募）
- 2012年10月 市民懇話会がワークショップ、視察、会議実施
市民懇話会から「花巻図書館への提言」提出
- 2013年5月 花巻中央図書館基本計画（案）策定(厚生病院跡地予定地)
(2014年3月に建設予定地の土壌汚染が県より公表)
- 2017年8月 パブリックコメント、市民説明会を経て新花巻図書館整備基本構想策定 （現在の花巻図書館）
- 2020年 図書館整備基本計画策定のため、市民や関係団体とワークショップや意見交換開催
- 2021年4月～ 図書館整備基本計画試案策定検討会議設置（専門的な見地から意見聴取・基本計画に記載すべき事項検討中）



新花巻図書館整備基本計画試案検討会議

- ・有識者で組織する「新花巻図書館整備基本計画試案検討会議」を設置。
- ・市が整理した新花巻図書館整備基本計画試案の概要について機能やサービス内容を専門的な立場で検討。
- ・会議の終期は設けず、議論を重ねていく。

■ 委員の構成

次の団体から推薦された委員20人で構成。

- ・花巻市図書館協議会委員
- ・花巻市社会教育委員
- ・新花巻図書館を考える会
- ・新花巻図書館まるごと市民会議
- ・花巻市身体障害者福祉協会
- ・花巻商工会議所花巻青年会議所
- ・花巻市PTA連合会
- ・図書館読み聞かせボランティア
- ・花巻市芸術協会
- ・市および教育委員会の職員



■ これまでに開催された検討会議で検討した事項

第1回（4月26日開催）

障がい者差別解消法への配慮

高齢者を考慮した公共交通機関が利用できる場所の検討

図書館の床面積の根拠、建物の材質、閉架書庫のあり方 等

第2回（5月25日開催）

先人の顕彰、障がい者からの意見聴取、郷土・行政資料

中心図書館としての機能、電子書籍の導入、図書館司書の育成 等

第3回（6月28日開催）

地域資料・古文書などのデジタル化、学校図書館の電算化

ボランティアの連携、ボランティアの取りまとめ、学校司書の配置

幼児施設、学童へのサービス、妊婦を対象としたサービス

地元企業と高校生が話す場、音楽、映像の配信等新しいメディア対応 等



市では、試案検討会議委員以外の皆さんから新花巻図書館整備に関する意見を聴くため、市内中学校や高校、子育てサークル団体などの意見交換会を実施予定。

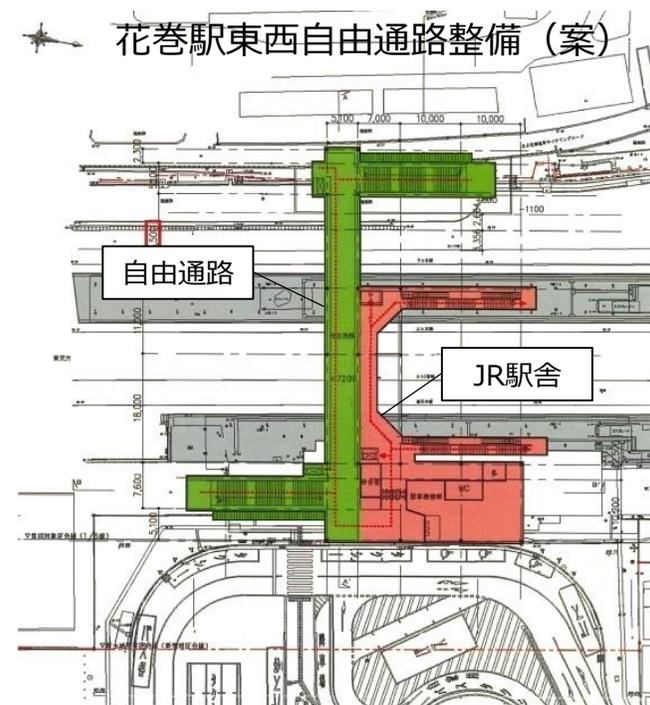
■ 目的

- 駅東西を通行する方々の安全性確保、人口増加傾向にある駅西側エリアから花巻駅を利用する方々の利便性向上、駅東側エリアとのアクセスを向上し、市街地の発展につなげる。

■ 取り組み内容

- 2017年6月に花巻市とJR東日本盛岡支社との担当レベルでの勉強会を設置
- 花巻駅の東西自由通路、橋上駅舎等を整備する場合の具体的な事業手法、課題、概算工事費等を調査するため、2017年11月にJRと協定締結し、調査を実施
- 花巻駅周辺整備基本計画調査（2018年9月報告）を踏まえ、整備内容を精査し、整備（案）を作成
- 事業実施可否を含め市民や関係団体と意見交換を実施
住民説明会計6回、関係団体との意見交換会計10回開催
- 今後、自由通路の長さの短縮や駅施設の簡素化などのコストダウンを含む整備内容の見直し及び工期短縮などの追加調査、駅西口広場整備方針の検討を含む駅前広場の現況調査などを実施

（花巻駅）



JR花巻駅東西自由通路（半橋上駅）整備の検討

【概算整備費用（単位:億円）】 【負担額内訳（単位:億円）】

区分	施設項目	費用	負担額内訳
市 施設	自由通路	11	国庫 5.1
	エレベーター		市負担 5.9
	エスカレーター		
	公衆トイレ		
鉄道 施設	駅舎	24	国庫 9.6
	エレベーター		市負担 10.4
	エスカレーター		
	支障移転		
	こ線橋撤去		
旅客サービス施設	こ線橋撤去等 4.0		
基本設計		0.5	国庫 0.6
実施設計		1.2	市負担 1.1
予備費		1.3	予備費 1.3
		38	38

負担額内訳	金額
国庫	15.3
市負担	17.4
補助対象外事業費(こ線橋撤去費等)	4
予備費	1.3
合計	38

都市構造再編集中支援事業	
補助率	対象事業費の1/2

(市負担の財源内訳)	
合併特例債 95%	交付税措置 70%
16.5	11.6
残5% 0.9	市実質負担 5.8

※整備費は、コストダウン含む整備内容の見直し及び工期短縮などの追加調査、駅西口広場整備方針の検討などを踏まえ、変更が見込まれる。

※こ線橋撤去費等の負担割合については今後JRとの協議により決定するため、**市の実質負担は5.8億円+こ線橋撤去費のうち市負担分**と想定。

■国道4号拡幅整備 現在の状況

- 2019年3月29日 「一般国道4号北上花巻道路」が計画段階評価を進めるための調査箇所決定並びに「一般国道4号山の神地区交差点改良」が新規事業化に決定
- 2020年3月31日 国土交通省事業化決定
- 2021年度 道路設計、用地調査、用地買収、既設構造物撤去

国道4号の拡幅整備により期待される効果

安定した物流の確保、緊急搬送時間の短縮、東北縦貫自動車道の代替、地域経済への波及、観光客の増加

■スマートインターチェンジ 現在の状況

事業費： 20.2億円
市負担額： 3.3億円
(国庫補助(1.8億円)や合併特例債活用により市実質的負担は0.8億円ほど)

- 2019年9月27日 国土交通省が(仮称)花巻PAスマートICの事業採択公表
新規事業化(2019年9月20日付で連結許可)
- 2020年3月31日 岩手県・東日本高速道路(株)・花巻市の三者による基本協定・工事細目協定締結
- 2020年4月～ 測量設計、事業説明会、用地買収
- 2021年度 埋文調査(4月から実施)、用地買収、一部工事実施(用水路、畦畔)

2023年(令和5年)度中の供用開始を目標

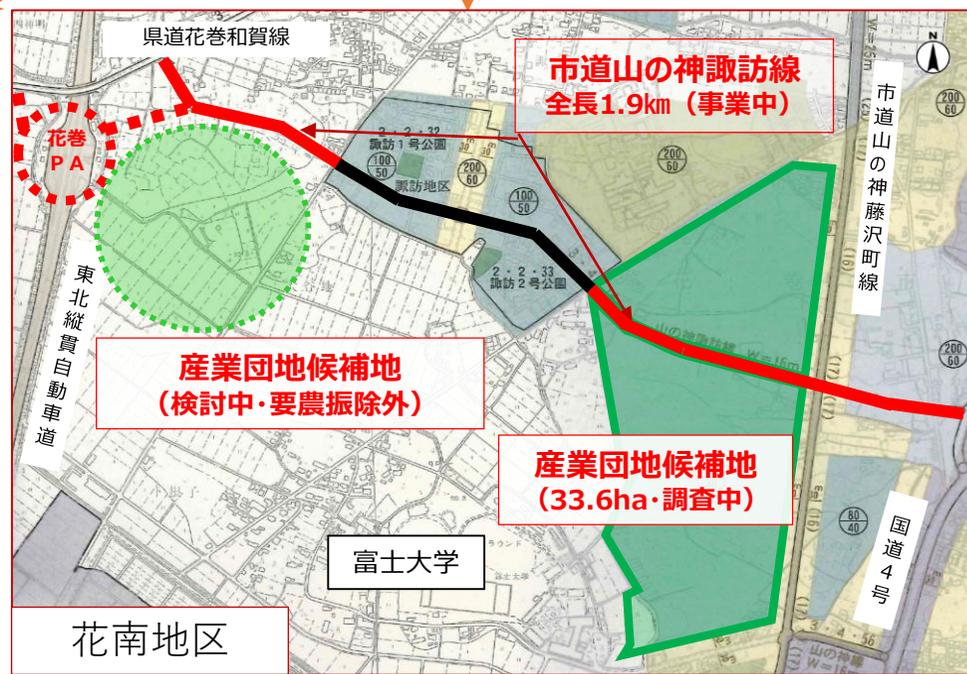


【主な産業団地】

②新産業団地開発の調査

(中長期的な対策)

- ・産業団地整備の候補地選定のため
花南地区において、基本設計及び測量調査等実施
- ・需要に応じ、南寺林地区等の土地利用計画を検討



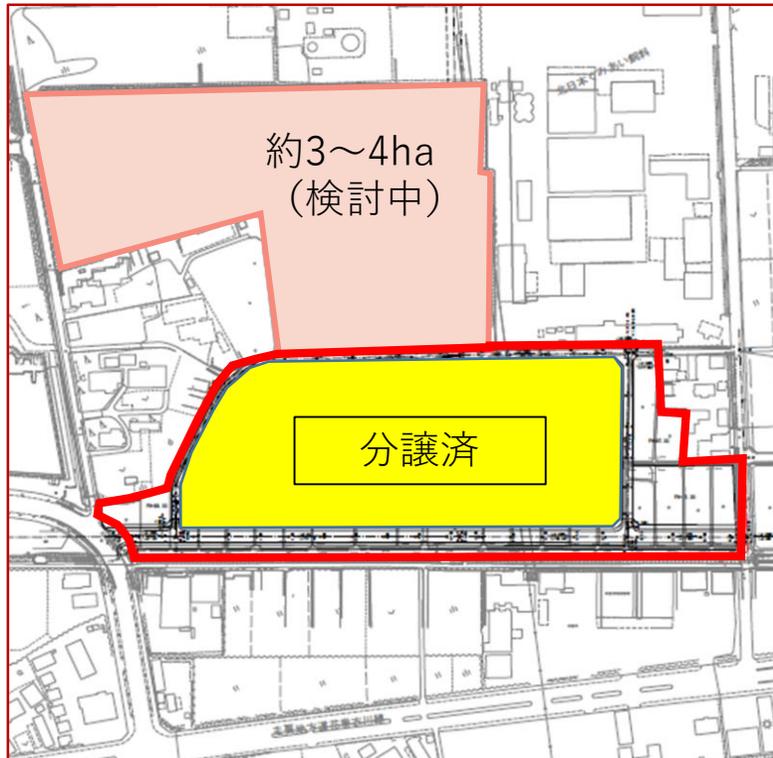
【新たな産業団地等の確保に向けた取り組み】

【主な産業団地】

① 産業用地の確保

(短期的な対策)

- ・ 2020年度、二枚橋地区に約2.7haの産業用地を整備、分譲
- ・ 需要に応じ3～4ha拡張を検討



(参考)

開発主体	花巻市
開発面積	4.4ha
分譲面積	2.75ha
相手方	大和ハウス工業(株)

■ 予約乗合バスの運行（石鳥谷地域・東和地域・大迫地域・西南地域）

- 2017年2月 予約乗合タクシーの運行方法見直し、名称を「予約乗合バス」と改め、石鳥谷地域で運行開始。
2017年10月 東和地域で開始、2018年10月 大迫地域で運行開始。2019年10月 西南地域で運行開始。
- 本運行システムは、通称「東大システム」。同システムの導入は東北初。東京大学と順風路（株）が共同で開発したオンデマンド交通システム。運行経路を即時生成し、予約を即時確定。

	石鳥谷地域予約乗合バス 2017.2月から	東和地域予約乗合バス 2017.10月から	大迫地域予約乗合バス 2018.10月から	西南地域予約乗合バス 2019.10月から
運行日	火・木・金	月・水・金	月・水・金	月・木、火・金を交互に運行
運行形態	不定時・区域運行（フリー運行）			定時・区域運行
運行時間	8:00～17:00			1日5便(往路3,復路2)
予約受付時間	8:00～17:00 運行1週間前～当日1時間前（西南は1時間半前）まで予約可 ※8時台のみ前日予約			
利用料金	1回：400円 ※小学生、身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を有する人 150円 ※未就学児は無料（要大人同伴）			
乗降場所	自宅付近の公道⇔指定乗降場所、指定乗降場所⇔指定乗降場所			自宅付近の公道 ⇔指定乗降場所

■ スクールバスへの一般混乗（東和地域・大迫地域）

- 児童生徒が通学に利用するスクールバスに地域住民の混乗を可能とする。
路線バス路線廃止後、予約応答型乗合交通が利用できない時間帯や曜日に地域住民の方々の移動を支援。
(2020年3月から休止中)

■ 岩手医科大学附属病院利用者連絡バスの運行

○岩手医科大学附属病院の矢巾移転にあわせ、花巻駅・石鳥谷駅と岩手医科大学附属病院間を往復する連絡バスの運行開始。

○平日は1日2便、第1・第4土曜日は1日1便の運行。入院・通院患者以外にもお見舞いの方等幅広く利用可能。

【運行経路及び運行時間】

		往路			復路		
		花巻駅発	石鳥谷駅発	医大着	医大発	石鳥谷駅発	花巻駅着
平日 (月曜～金曜)	第1便	7:30	7:50	8:15	11:00	11:25	11:45
	第2便	12:10	12:30	12:55	14:00	14:25	14:45
第1・第4土曜	第1便	7:30	7:50	8:15	13:00	13:25	13:45

【利用料金】

往路	往路		復路	
	大人	小人等※	大人	小人等※
花巻駅から乗車	800円	400円	石鳥谷駅で降車	600円 300円
石鳥谷駅から乗車	600円	300円	花巻駅で降車	800円 400円

※小人等…小学生、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者。
未就学児は無料（要保護者同伴）

■道の駅「石鳥谷」施設概要

- 日本三大杜氏の一つ「南部杜氏の里」
- 県内道の駅指定第1号。
交通量に恵まれた国道4号に面す
- 日本酒を使った菓子・ジェラート充実
- 多言語表記が充実
- 2019年 県内道の駅スタンプラリーで
スタンプ数第1位
- 南部杜氏伝承館、酒匠館(物産館・食事
処)、産直等の多様な施設構成
- 2020年「道の駅の防災利用及び相互支援
に関する協定」を国と締結



石鳥谷 ～南部杜氏の里～



▲完成イメージ図

2019年「施設再編基本構想・基本計画」策定

- 「道の駅の魅力と利便性向上」、「観光コンテンツの確立による交流人口の拡大・賑わいの創出」目指す
- 市と国道4号道路管理者（国土交通省）が連携、施設の改修再編により、「いつでも行きたい」と思える交通拠点の形成を推進
- 国道4号道路管理者は、駐車場の拡張、24時間トイレと情報発信施設を建替整備

国の地方創生拠点整備交付金 2020年3月 9,149万円交付決定、2021年4月 1,969万円交付内示

■ 新たな補助制度の創設

- ・魅力的な住宅の供給：花巻地区・石鳥谷地区の居住誘導区域、花南地域他、大迫地区・東和地区の生活サービス拠点区域を対象

⇒「優良な戸建て宅地開発に対する補助」及び「空き家の解体費補助」を新設
(1年以上未使用の空き家・空き店舗を対象。同じ場所への家屋、店舗等の新築が条件)

【花巻市民間宅地開発支援事業補助金（R3新設）】

- ・面積3,000㎡未満のミニ開発で、優良な宅地分譲を行う事業者に対し、造成費用の一部補助。
⇒狭い道路の解消など快適な居住環境の形成図る

補助対象区域：居住誘導区域（花巻地区、石鳥谷地区）、生活サービス拠点（大迫地区、東和地区）
花巻地区は居住誘導区域周辺の用途地域（一部を除く）も対象

補助金の額：1開発あたり上限200万円（都市機能誘導区域300万円）

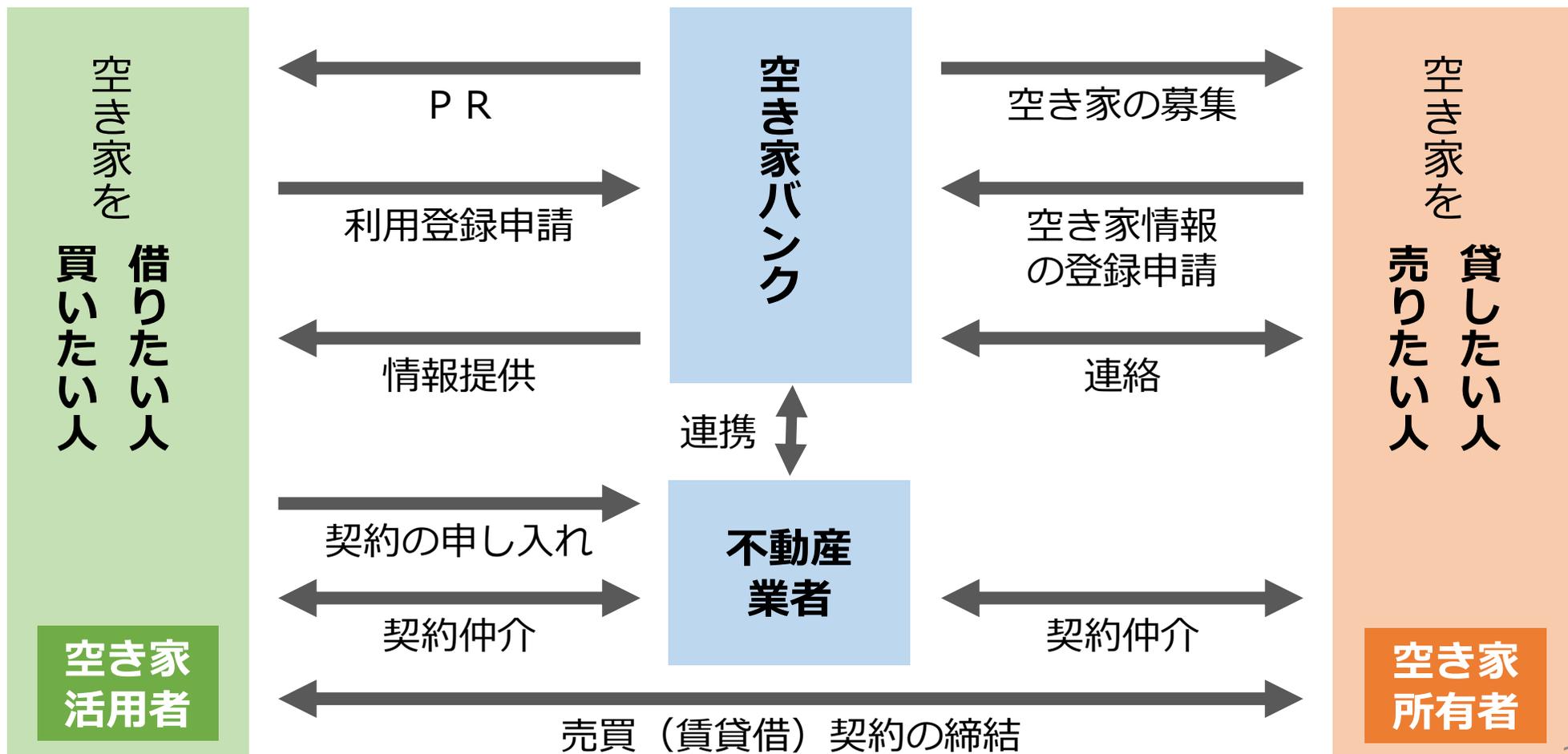
※分譲戸数や道路面積、造成費用から算定

【花巻市空家等解体活用補助金（R3新設）】

- ・市内の空き家（空き店舗等を含む）を解体し、新たに建築物の新築を行う者に解体費の一部補助
⇒良好で安心な居住環境の形成、遊休不動産の有効活用と耐震促進図る
補助金の額：補助対象経費（解体費）の2分の1

区域	限度額
市内全域	40万円（旧耐震基準に建築されたものは10万円加算 上限額50万円）
市内全域のうち、居住誘導区域 又は生活サービス拠点区域	100万円

- 空き家バンク制度により、U I J ターン者の定住を促すとともに、市内に増える空き家を解消



- 登録物件の成約⇒空き家所有者に奨励金、空き家活用に補助金交付
- 空き家登録270件、利用登録493件、成約134件（2021.6.30現在）
（うち2021年度 空き家登録10件、利用登録25件、成約3件（2021.6.30現在））
- 空き家バンク登録物件に付随した農地について、取得最小面積を緩和 <10a ⇒ 1a>（2019.4.1から）

制度	概要	支援（助成）内容
空き家バンク活用奨励金	<ul style="list-style-type: none"> ●登録物件の成約 空き家所有者に奨励金支給 ※市外からの転入者との成約に限る 	<p>奨励金10万円</p>
定住促進住宅取得等支援	<ul style="list-style-type: none"> ●県外転入者と市外の就農希望者 空き家バンクで住宅を取得・賃借する際の費用を助成 	<p>中古住宅改修費用、引越費用、登記費用等 補助対象経費の2分の1を助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅売買の場合 上限200万円 ・住宅賃借の場合 上限100万円 <p>※住宅本体取得費は補助対象外 ※県の移住促進事業費補助金の対象となる、空き家バンクの改修を行った場合 ⇒上限20万円を加算、最大220万円補助（賃借の場合、最大120万円補助）</p>

制度	概要	支援（助成）内容
<p>定住促進住宅取得等支援</p>	<p>● 県外の子育て世帯と市外の就農希望者 ⇒ 市内での住宅取得費用を助成</p> <p>(補助対象経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中古住宅の改修費用 ② 住宅取得手続きの経費・賃借手続き経費、資金の借り入れ手数料 ③ 転校などで学校で必要となる物品の購入費 ④ 引っ越しにかかる経費 ⑤ 引っ越し後の住宅で生活に必要な物品購入費 ⑥ 火災保険料、地震保険料（1年分） ⑦ 固定資産税相当額（1年分） ⑧ 犬の登録手数料 	<p>中古住宅改修費用、引越費用、登記費用等 補助対象経費の2分の1を助成 上限200万円</p> <p>※住宅本体の取得費は補助対象外</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2019. 2. 1から中古住宅(空き家バンク含む)の改修費用の補助率を10分の10に拡充!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内事業者が改修を行った場合 ・ 資材を市内で購入して自ら改修を行った場合 <p style="text-align: center;">➡ 改修費の全額を補助 (ただし補助金の上限の範囲内で)</p> </div>

花巻市と独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結により、上記制度対象者が長期固定金利住宅ローン「フラット35」を利用する場合、借入金利を当初5年間、年0.25%引き下げ

制度	概要	支援・助成内容
子育て世帯 住宅取得支援	<ul style="list-style-type: none"> ●市が定める区域〔*1〕に住宅を取得した子育て世帯に奨励金を交付 <p>*1 花巻・石鳥谷地域は花巻市立地適正化計画に定める「居住誘導区域」or「都市機能誘導区域」</p> <p>大迫・東和地域は地域と話し合いにより決定した範囲 (大迫地域は大迫地域、外川目地域の一部) (東和地域は土沢地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親と同居または近居〔*2〕する住宅を取得した子育て世帯に奨励金を交付 <p>*2 親世帯と同じコミュニティ地区内を想定</p>	<p>奨励金30万円 (都市機能誘導区域内へ新築購入する場合、20万円加算)</p>

花巻市と独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結により、上記制度対象者が長期固定金利住宅ローン「フラット35」を利用する場合、借入金利を当初5年間、年0.25%引き下げ

ぶどう生産とワインを核とした産業振興①

ぶどう生産者への支援

新規就農者支援制度

ぶどう栽培技術指導や初期費用補助

空き家バンク制度

移住者・新規就農者等への
空き家の紹介・諸費用補助

労働力支援（大迫）

ボランティア組織「ぶどうつくり隊」運営
ぶどうトライアルステイ「かんたはうす」開所

花巻産ワインのPR

日本ワインフェスティバル花巻大迫開催
※2021年は開催中止

岩手のワイン発祥地大迫から
「ワイン産地岩手」を全国に発信。
北海道から関東・甲信越の41ワイナリー
196種のワインが集合。
・2019年5月25日・26日開催

環境整備（規制緩和）

クラフトワイン・シードル特区

ぶどう栽培技術指導、初期費用補助

最低製造数量基準の引き下げ
(年間6kl⇒果実酒2kl、リキュール1kl、
農家レストラン等で提供の場合適用除外)

農地の流動化

農地取得最小面積 <50a ⇒ 10a>

空き家バンク登録物件付随農地
取得最小面積 <10a ⇒ 1a>

就農しやすい環境整備

醸造志向者への支援

ワイナリー整備等事業補助金

新規ワイナリー設立や設立後の施設整備、醸造設備の導入、果実酒の販路開拓に要する費用補助

醸造技術習得支援事業補助金

ワイナリーが醸造志向者を研修生として受け入れる場合の経費に対する補助

- ぶどう生産の担い手確保
→ 2019年に特区制度を活用した初のワイナリーが完成
(社会福祉法人悠和会)
- 花巻産ぶどう、ワインのブランド化、産地化

■日本ワインフェスティバル花巻・大迫を開催【2021年は開催中止】

■ワインと共に

- 大迫地域・・県内有数のぶどう産地
ワイン製造は50年以上の歴史
- 株式会社エーデルワイン（第三セクター）
…国際ワインコンクールで最高賞を受賞
国内外で高い評価
- 近年3つの小規模ワイナリーが誕生
 - ・2015年：高橋葡萄園
 - ・2016年：合同会社亀ヶ森醸造所
 - ・2019年：社会福祉法人悠和会※
(※クラフトワイン・シードル特区活用)

・大迫から「岩手＝ワイン産地」を発信

・大迫のまちなかの商店街で日本ワインのイベントを開催⇒まちなかの活性化



日本ワインフェスティバル花巻・大迫開催
(2019年来場者 約6,000人)

※2018年来場者 約5,000人

【2019年の開催概要】

- ・期日 2019年5月25日・26日
- ・会場 大迫町中心市街地内
- ・内容 国内41ワイナリーが集結
(県内10、北海道1、東北8、
関東3、甲信越19)



▲晴天に恵まれ大いに盛り上がった「日本ワインフェスティバル花巻大迫2019」

▼ソムリエ世界一の田崎真也さんによるトークショーを開催（5月26日）



スマート農業の推進①

- 市内に東北で初めてRTK-GPS地上基地局を設置
⇒誤差±2 c m程度の高精度位置測位情報環境を無償提供
- 高価で導入が進まなかったRTK-GPSガイダンスおよび自動操舵システムの購入
⇒2017年度から市が購入費を補助
- 農業用ドローン本体（2019年）、ロボット草刈機（2020年度）の導入補助開始

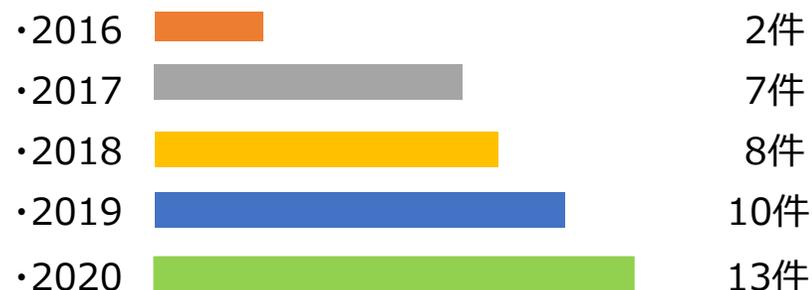
GPS基地局の分布図



市単独事業の状況

補助内容	補助対象者	補助率等
① GPSガイダンス ② 農業用自動操舵システム一式 ③ 農業用ドローン本体 ④ ロボット草刈機	① 認定農業者 ② 認定農業者等で組織する団体 ③ 集落営農組織 ④ 地域農業マスタープランの中心経営体（位置づけられることが 確実な者を含む）	補助率：3/10 (上限：100万円)
農業用ドローンの教習費用		補助率：1/2 (上限：10万円)

※市が設置した基地局を利用しGPS自動操舵システムを導入している市内の経営体



(※数字は累計)

- スマート農業技術の導入⇒情報収集や実用性・収益性の検討
花巻市農業振興対策本部が主体となり、実証実験を実施
- 講師等を招いて最新技術やスマート農業技術を紹介する研修会を開催

実証実験の内容



RTK-GPS自動操
舵による大豆施肥・
播種の高精度化



食味収量コンバイン
による食味・収量の
迅速把握

スマート農業で期待される効果

- ✓ 労働力不足の大幅改善
- ✓ 生産の効率化
- ✓ 農産物の品質向上・収量増
- ✓ 作業精度・作業能率の向上
- ✓ 農業従事者の業務内容の転換
- ✓ 農業の魅力アップ
- ✓ プロ農家の技術の継承

制度	概要	支援（助成）内容
U・I・Jターン者 就業奨励金	<ul style="list-style-type: none"> ● 県外から市内企業に就職したU・I・Jターン者に、奨励金交付 	<p>奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U・I・Jターン者 25万円 <p>※移住支援事業との重複受領は不可</p>
移住支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京圏からの移住者に 国・県・市が負担し移住支援金を交付 ・ 東京23区内に在住又は東京圏に在住、かつ東京23区内に通勤していた方 ・ 平成31年4月1日以降に花巻市に転入した方 ・ 県が本事業の対象として掲載する求人に就業した方 	<p>支援金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯での移住100万円 ・単身での移住 60万円 <p>※2019年10月より開始 ※その他要件の詳細は、ご確認ください</p>
インターンシップ の実施・支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内事業所でのインターンシップ^o 行う大学生等に 交通費及び宿泊費を助成 	<p>インターンシップ参加に要した経費助成 (居住地～市内事業所の交通費・宿泊費)</p> <p>上限 2万円 (宿泊費は5,000円を上限とする)</p>

制度	概要	支援（助成）内容
新規就農支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 市外から移住してきた新規就農者が対象に機械購入等の初期費用、農地の賃借料助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用 最大80万円（3年以内） ・賃借料補助 1万円／10a（最大50a） （最大5年間）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規就農者の研修を受け入れる農家対象に受け入れ費用を支給 	研修受入れ先農家に5万円／月 （最大2年間）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業研修を受ける市外から転入の新規就農者対象に家賃を助成 	家賃の2分の1以内 上限2万円 （最大2年間）

- 結婚に踏み切れない主な要因の一つに、経済的理由という調査結果
⇒国が結婚に伴う新生活のスタートアップに係る支援拡充（令和3年度）
- 市も市内で結婚新生活を開始する世帯を支援
（結婚新生活に伴う住宅取得費用または住宅賃貸費用、引越し費用等）
※市で実施する他の住宅支援施策との併用が可能

- ① **補助対象**：結婚に伴う住宅取得費用または住宅賃借費用、引越費用
- ② **補助世帯**：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得400万円未満
（世帯年収540万円未満に相当）の新婚世帯
- ③ **補助上限**：29歳以下▶60万円、39歳以下▶30万円
※いずれも1世帯あたり、年齢区分は夫婦いずれかの高い方
- ④ **受給条件**：自治体を実施する家事育児参画促進講座や、結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に対する取り組みへの参加

- 地域課題の解決⇒「地域おこし協力隊」制度を導入
都市地域の意欲ある人材の積極的な受け入れ⇒新しい目線の取り組み

※現在、6人の隊員が地域住民と連携・交流。

個々のテーマや自らが見つけた地域課題を解決するため活躍中。



●ぶどう農家候補として研修



●シティプロモーション
まきまき花巻ディレクター



●伝統工芸を活用したプロモーション



●ぶどう農家候補として研修



●ワインツーリズム等を中心とした
花巻産ワインのPR



●グリーンツーリズムプロデューサー

花巻市地域おこし研究所の開設

■ 開設の目的

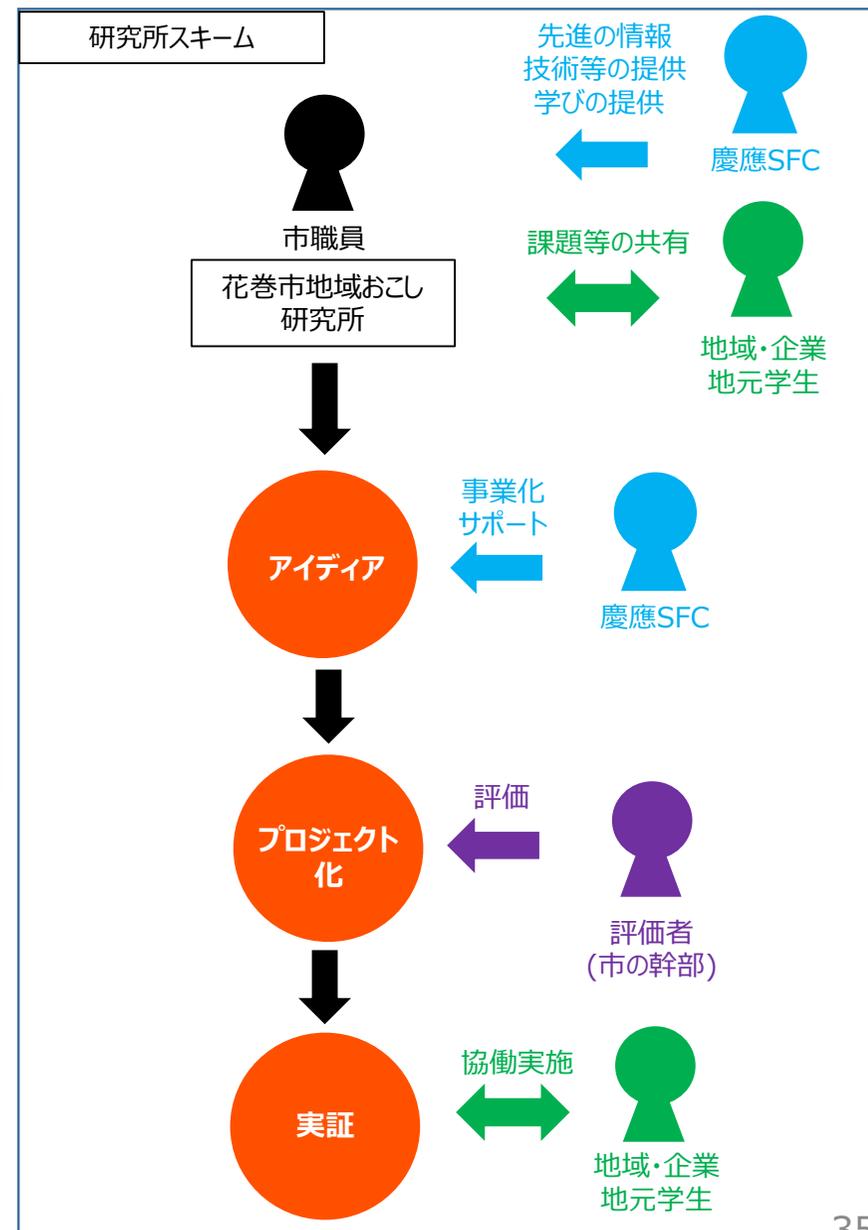
- 花巻市の未来に資する研究、開発及び実践。
- 研究と通常業務の両立ができる専門的な技術と能力を持った人材（高度人材）の育成。

■ 研究所の役割

- 地域課題の解決方法や事業計画の検討⇒市職員が先頭となり実践⇒学び続ける機会と場を創出
- 市職員を高度人材へ育成

慶應義塾大学SFC研究所との連携

- 2018年7月9日 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（以下、SFC）研究所と「地域おこしに関する研究開発の連携協定に関する覚書」締結
- 花巻市職員が花巻市に新機軸を提供するテーマを設定
SFCからの遠隔・対面での指導・助言受け、市に資する研究開発従事。
- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
2名が2019年4月から大学院生として地域課題の解決について研究。
⇒2020年度で大学院修士課程修了。
1名が2021年7月に合格。同年9月から大学院修士課程に入学。



新型コロナワクチン接種について

◆64歳以下のワクチン接種日程（7月6日現在）

対象区分	接種券発送日	接種会場通知 発送日	接種時間の 予約受付期間	ワクチン接種を受ける	
				1回目	2回目
基礎疾患のある人	6月25日発送 済	6月25日から 案内チラシを発送 済	7月2日から 予約開始	7月5日から 接種開始	7月26日から 接種開始
64歳以下の人	調整中 ※▶接種日程▶接種場所▶予約方法一などは、年代ごとに段階的に封書を発送する予定です。				

◆7月15日時点での高齢者ワクチン接種完了見込み数

区分	1回目終了者	左のうち2回目終了者
集団接種会場での接種者数	26,024人	16,746人
高齢者施設での接種者数	2,120人	1,799人
病院・医院など、各地域の医療機関での接種者数	2,141人	147人
高齢者への接種総合計	30,285人	18,692人
高齢者施設職員の接種者数	1,600人	1,357人
7月15日時点で接種したと見込まれる高齢者の接種割合	89.7%	55.4%

※65歳以上高齢者接種券発送者人数 **33,751人**

※上記の他、医師・看護師等、医療従事者はワクチン接種済み

◆今後のワクチン接種について

●「12歳以上64歳以下」の人に対し接種券を発送

- ・6月25日～6月30日に接種券を発送
接種日程は現在調整中

※接種券は接種期日まで大切に保管を

- ・県が実施の集団接種の対象者が拡大
高齢者 ⇒ 県内の市町村から送付された接種券を持っている18歳以上へ

※国・県の実施する集団接種や大規模接種には市から送付された接種券が必要

岩手県新型コロナワクチン集団接種のお知らせ

今回より接種対象者を 接種券をお持ちの18歳以上の方に拡大します!

(予約受付は、本日(6月29日(火))13時から開始します)

1▶ 県央会場 岩手県立大学(漢京市美子552-52)または**岩手産業文化センター(アビオ)**(漢京市美子389-20)

1回目	2回目	予約受付開始日
実施日/会場	実施日/会場	
① 6/19(土) / 岩手県立大学	7/17(土) / アビオ	予約受付終了
② 6/20(日) / 岩手県立大学	7/18(日) / アビオ	予約受付終了
③ 6/26(土) / アビオ	7/24(土) / 岩手県立大学	6/29(火) 13:00
④ 6/27(日) / アビオ	7/25(日) / 岩手県立大学	
⑤ 7/3(土) / アビオ	7/31(土) / アビオ	
⑥ 7/4(日) / アビオ	8/1(日) / アビオ	
⑦ 7/10(土) / アビオ	8/7(土) / アビオ	
⑧ 7/11(日) / アビオ	8/8(日) / アビオ	

2▶ 県南会場 江刺西体育館(奥州市江刺委幸字150)

1回目	2回目	予約受付開始日
実施日	実施日	
① 6/26(土)	7/24(土)	6/29(火) 13:00
② 6/27(日)	7/25(日)	
③ 7/3(土)	7/31(土)	
④ 7/4(日)	8/1(日)	
⑤ 7/10(土)	8/7(土)	
⑥ 7/11(日)	8/8(日)	

3▶ 予約方法(インターネット又は電話予約)

▶ インターネット予約
「岩手県新型コロナワクチン接種予約サイト」
にアクセスし、必要事項を入力して予約
<https://vaccines.sciseed.jp/iwate>
▶ 電話予約(予約方法に関する相談はこちら)
岩手県予約コールセンター
☎0570-200-779
受付時間 9:00~18:00(土、日、祝日も受付)※受付終了後(19:00~6:00)は、

4▶ 予約時の留意事項

- ▶ 武田 / モデルナ社製のワクチンを使用します。
- ▶ 県や他の自治体が発行する予防接種を受けた方、その予約をしている方は対象外となります。
- ▶ 病気の療中(投薬中)の方は、ワクチン接種の可否について、予め主治医にご相談ください。

5▶ 接種に当たっての留意事項

- ▶ 接種当日は「接種券」「予約票(事前に記入したもの)」「本人確認書類(健康保険証など)」を忘れずにお持ちください。
- ▶ 接種当日は、マスク、手洗いの消毒など、感染対策をしっかりと行ってください。
- ▶ 予約後に都合が悪くなった場合は、接種券を返却していただく必要があります。

●「基礎疾患のある人」を対象とした個別接種を開始

- ・7月2日から受付を開始。7月5日から接種を開始
※診断書などの提出は不要(予診の際に基礎疾患の状況を確認)

●クラスターの発生を抑制する目的で優先的に接種

- ・市では、65歳未満の人のうち、下記に該当する方に優先接種
 - ▶ 保育施設等の職員
 - ▶ 小中学校教員などの教育関係者
 - ▶ 富士大学や花巻東高校、清光学園の寮生及び同校教職員
 - ▶ 市内観光業従事者
 - ▶ タクシー及びバスの運転手

－温泉宿泊施設等利用促進事業－

県民、県民のグループまたは県内事業所に勤務する方を対象（助成対象が市民の時期もあり）
市内の温泉宿泊施設等の利用料（宿泊料金または日帰り入浴料金）を助成

**2021年5月31日まで
継続実施**

	宿泊助成額 / 助成対象	
2020年6月	4,000円 / 市民 (6/1～6/8は3,000円)	
7月	4,000円 / 県民	7月の県内宿泊者数は 前年同月比160%
8月	2,000円 / 市民	
9月	4,000円 / 県民	9月の県内宿泊者数は 前年同月比255% 〃 宿泊者数全体は 前年同月比104%
10月 ～2021年2月	2,000円 / 県民(2/20～2/28は4,000円)	10月の県内宿泊者数は 前年同月比178%
3月～4月	4,000円 / 県民	4月の県内宿泊者数は 一昨年同月比180%
5月	2,000円 / 県民 (5/1～5/9は4,000円)	5月の県内宿泊者数は 一昨年同月比225%

【温泉宿泊施設等利用促進事業の助成実績】

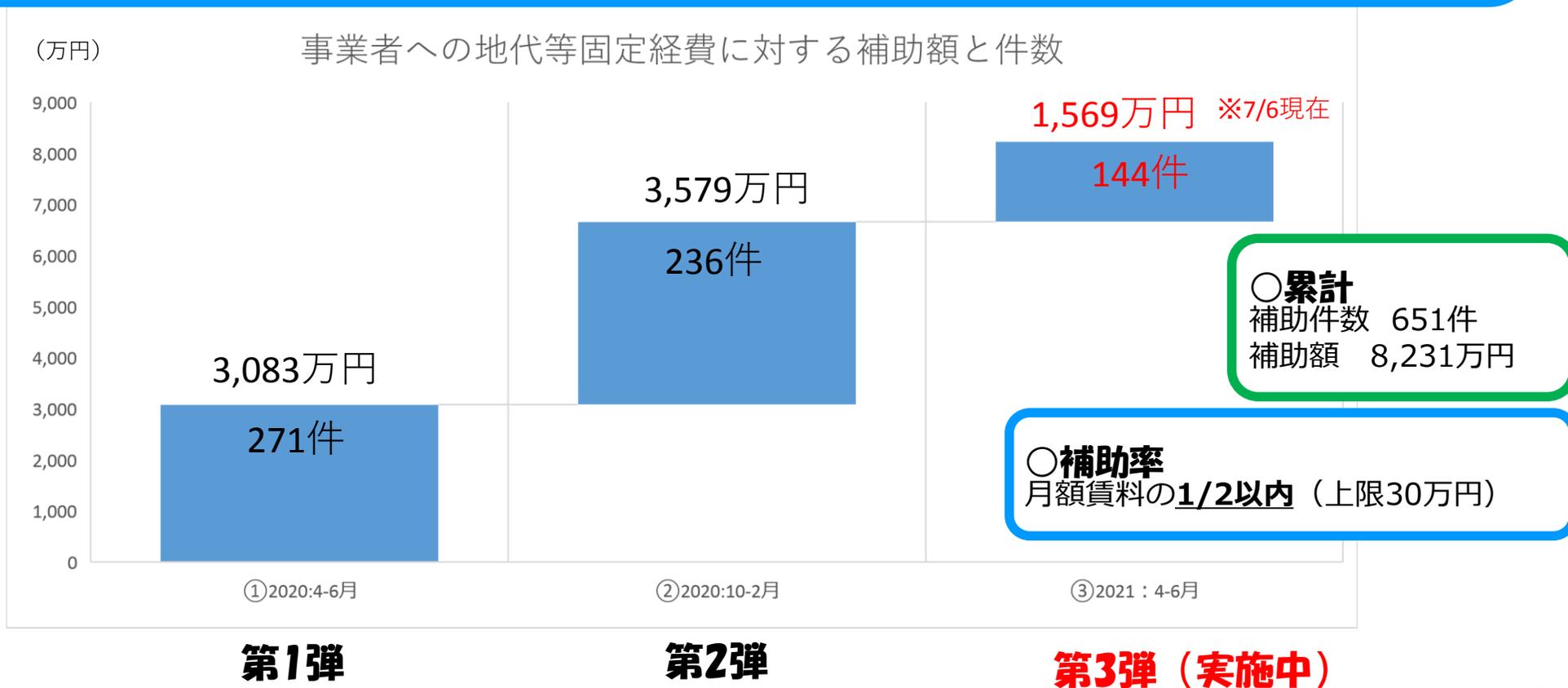
- ▶ 宿泊利用 **延べ25万3,671人**
- ▶ 日帰り入浴利用 **延べ2万4,304人**
- ▶ 助成額総額 **8億2,390万2千円**

⇒今後の状況などから必要と判断される場合には再開を検討

－中小事業者の固定経費「店舗賃貸料・駐車場賃料」の補助－

○対象

- ・小売業、飲食業、宿泊業、道路旅客運送業、サービス業、医療業、介護事業等
- ・2021年4月～6月までのいずれか1か月の売上が前年または前々年同期比**30%以上減**の中小企業者（法人・個人）



－キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン（第3弾）－

地元事業者の売上UP & 感染リスク減 & キャッシュレスの普及

PayPay決済金額の最大20%が還元ボーナスポイントとして付与
ポイントは30日後に付与され、PayPay残高での支払いに使用できる

第1弾	2020.8-9月	・ 1決済あたりの付与上限4,000円 ・ 期間中の付与合計上限20,000円	加盟店登録数 773店舗
第2弾	2020.12-3月	・ 1決済あたりの付与上限6,000円 ・ 期間中の付与合計上限50,000円	加盟店登録数 1,075店舗

キャンペーン
第3弾

令和3年8月1日から8月31日まで

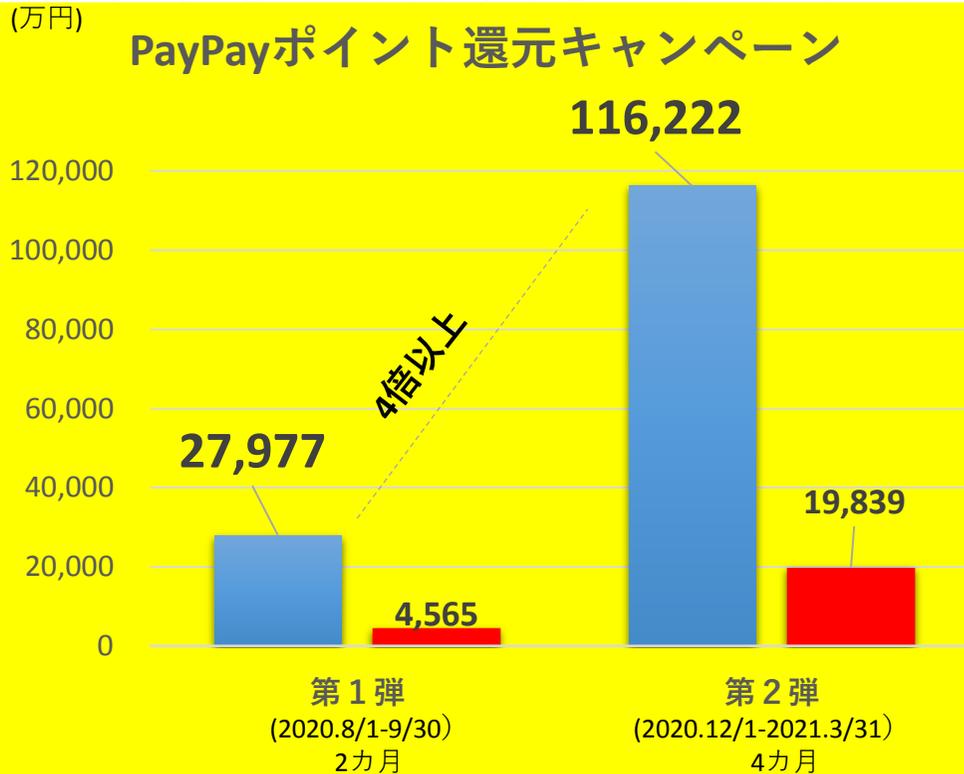
- ・ 1決済あたりの付与上限4,000円
- ・ 期間中の付与合計上限10,000円

加盟店登録数 **1,158店舗**

－キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン（第3弾）－

地域の中小企業の売上アップにむけて

キャンペーン 第3弾
あります！！
8/1～8/31



■ 決済金額 ■ ポイント還元額



キャンペーン対象店舗は
地場の事業者限定

高い経済波及効果

コロナ独自の経済支援策

東北有数の温泉地を抱える花巻市が、新型コロナウイルスの感染拡大防止と並行させながら独自に展開する地元経済への支援策が成果を上げてきている。若手市民や市民対象の宿泊助成を継続実施し、他地域に比べて来客数の減少を抑制。地場店舗にはスマートフォン決済を使ったキャンペーンで圏域内の消費を喚起し、売り上げ向上を後押しする。

危機応変に対応

宿泊助成は昨年6月に開始し、県内市町村では唯一、切れ目なく続ける。国、県の支援策や宿泊業種に応じ、助成額は1泊最大2000〜4000円の間に段階的変更に動かせている。

昨年12月末に政府の観光支援策「Go Toトラベル」が停止して宿泊者が激減した際は、助成額を2月途中に4000円に引き上げ、県民の利用を促した。

感染防止のまん延防止の両立も目指し、県内初の感染者が確認された直後の昨年8月は、助成対象を市民に絞って実施された。

3月の合計で約41万人。コロナ前の同期(2019年1〜3月、7〜12月)に比べ、66%を積みどめてまっている。日本旅館協会東北支部連合会の調査でも、3月の宿泊人員(19年比)は6県平均が4・7%と微増する。花巻地区は約1・7%と微減する。花巻温泉観光推進協議会の高田貞一会長(大沢温泉社長)は「市の応援は心強い」と感謝する。

市では新型コロナウイルス対策に新たな形の地方創生臨時交付金を活用し、約4500万円を投入し、温泉対策に重点を置く。市観光課の藤井洋彦課長は「食料、土産、クリーニングなど関連業種が幅広い。温泉施設が動くと市内の経済が回る」と強調する。

花巻市モデル 成果

金額変え宿泊助成継続

スマホ決済で消費喚起

20%還元しPR

地場店舗向けの対策として、スマートフォン決済のべ、内107店舗で計1億6200万円の売り上げにつながった。

イペイを使った20%還元キャンペーンをいち早く実施。昨年は3月の勢を弾では、市内に本社を置く中小企業と個人事業主の店舗を対象とし、飲食業をはじめ、本や文具、自転車、おもちゃ、ガソリンスタンド、食料品、理髪店、服屋なども幅広い業種で活用された。



花巻南温泉街

市内の美容室「パニエーンス」の池田珠美オーナーは「感染の被害に遭っていた市内の人のほか、市外からも新規客が来てくれた。地元のお店を知ってもらえる良い機会。またやってほしい」と期待する。

還元費用として市は1億9800万円を負担する。上田東一市長は「2億円の給付金を事業業者に直接出すより、経済効果は大きかった。売り上げの向上に結び付いており、8月に改めて3億の減税を検討している」と手厚く支援する。

大沢温泉旅館(左)と温泉街を走る観光バス(右)の風景が印象的だった花巻市の温泉街(15日)

事業名	内容	備考
産後ケア、産前・産後サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦が抱える妊娠、出産などの悩みについての相談、産後間もない母子に対する心身のケア ●母親同士の仲間づくりを促し、孤立感を解消、安心して妊娠期を過ごし、育児ができるようサポート ※妊産婦の支援を行うNPO法人「まんまるママいわて」に委託 ★ R 3 拡充（利用回数を1人5回から7回へ）	利用料金 ・産後ケア 全日型 2,700円/回 半日型 900円/回 訪問型 900円/回 ※生活保護世帯、非課税世帯、無料 ・産前・産後サポート 参加型サロン 無料
妊婦一般健康診査 多胎妊娠妊婦健康診査	従来の14回の健康診査に加え <ul style="list-style-type: none"> ●妊娠40週を超えた妊婦の方で必要と認められた場合 新たに1回分の妊婦健康診査費用の一部を助成（★R3 拡充） ●多胎妊娠された妊婦の方 新たに5回分の妊婦健康診査費用の一部を助成（★R3 拡充） 	
特定不妊治療	<ul style="list-style-type: none"> ●花巻市に住所を有する、特定不妊治療を受けた夫婦で岩手県の特定治療支援事業による助成金の交付決定を受けた方を対象に治療費の一部を助成 ★ R 3 拡充（事実婚関係にある方も対象に） 	1回の申請につき 10万円限度に助成 （男性不妊治療を併せて行った場合上記に加え、1回の申請につき10万円助成） ★ R 3 拡充（男性不妊治療も対象に）

■産科医療機関を利用する際の妊産婦の交通費・宿泊費を補助

⇒妊産婦が安心して出産できる環境の充実を図る

○妊産婦タクシー補助

■対象者

花巻市内に住所を有する妊産婦

■補助対象経費

- ・妊婦健診や通院・入院のため、対象地区内にある産科医療機関（*）と自宅（または市内出先）との区間で利用したタクシー料金を対象
- ・1回の乗車につき（片道あたり）3千円を超えた額

*対象となる地区内

岩手中部（花巻市、北上市、遠野市、西和賀町）

盛岡（盛岡市、矢巾町、紫波町、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢市）

胆江（奥州市、金ヶ崎町）

両磐（一関市、平泉町）

■補助金額

対象経費の累計額(ハイリスク妊産婦交通費等補助額と通算で**5万円上限**)

■補助対象期間

母子健康手帳が交付され、対象地区内にある産科医療機関へ健診や通院を開始した日から通院または入院が終了する日まで（最大産後6週間まで）

妊産婦交通費支援②

○ハイリスク妊産婦交通費等補助

■対象者

花巻市内に住所を有し、医療費にハイリスク妊娠管理加算またはハイリスク分娩管理加算が算定された方
または、これに相当する疾患を有すると医師が認める方で、県内の周産期母子医療センター（*）に通院または入院している妊産婦

* 県内の周産期母子医療センター
岩手医科大学附属病院、県立中央病院、盛岡赤十字病院、
県立宮古病院、県立中部病院、北上済生会病院、県立磐井病院、
県立大船渡病院、県立久慈病院、県立二戸病院

■補助対象経費

- ・ 妊婦健診や通院・入院のため周産期母子医療センターと自宅（または県内出先）との間を移動した際の交通費（電車、バス、タクシー、自家用車、有料道路、駐車場）
- ・ 待機宿泊（入院待機または分娩待機）の際の宿泊費・交通費
- ・ 周産期母子医療センターと同じ病院内にある他科を受診するときの交通費（ハイリスク妊産婦であることを理由とした受診に限る）

■補助金額

対象経費の累計額(妊産婦タクシー補助額と通算で5万円を上限)

■補助対象期間

母子健康手帳が交付され、県内の周産期母子医療センターへ健診や通院を開始した日から、通院または入院が終了する日まで（最大産後6週間まで）⁴⁶

保育環境の充実（保育サービスの拡充/学童クラブの整備）

- 私立保育所等 3 園の施設整備を支援。2020年4月に開設（定員107人分）



認可保育所「みどりの保育園」
（不動）（定員50人）



認可保育所「わこのいえ保育園」
（城内）（定員45人）



小規模保育事業所「つし保育園」
（松園町）（定員12人）

- 宮野目学童クラブの増築。2021年4月に定員を20人増員（定員60人⇒80人）



- 花巻学童クラブと、同じ若葉小学校区内にあるひまわり学童クラブを統合整備
⇒「若葉学童クラブ」開設。2022年4月に定員を増員（定員158人⇒180人）

保育環境の充実（保育士確保支援制度）

制度	概要	支援（助成）内容
保育士等 復職支援	●市内の保育所等への再就職を希望する保育士等の資格を有する人へ復職に向けた支援実施	職場見学や職場体験などの場を無料で提供
保育士等 再就職支援金 貸し付け	●市内の私立認可保育所等に再就職する保育士に、再就職支援金を貸し付け	貸付金10万円（1人1回） 1年間勤務で返還免除
保育士等 保育料補助	●市内の私立認可保育所等で週20時間以上勤務する保育士に、子どもを認可保育所等に預ける場合の保育料を助成	保育料月額 ・第1子 10,000円 ・第2子 5,000円

保育環境の充実（保育士確保支援制度）

制度	概要	支援（助成）内容
保育士等 家賃補助	● 市内私立認可保育所等に勤務の保育士に住居を賃貸する場合の家賃を助成	上限4万円から、勤務先から支給される住居手当を差し引いた額に、以下の割合を乗じた額を助成 ・採用1年目 1/2 ・採用2年目 1/3 ・採用3年目 1/4 ※2023年度で補助終了
保育士等 奨学金返済 支援補助金	● 奨学金を返済しながら市内私立認可保育所等に勤務の保育士等の奨学金の返済の一部を補助	返済額の1 / 2を補助 継続して36月を限度とする 年額12万円を上限 (半年の場合6万円)

概要

- 保育施設等（保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業所）の防犯対策の強化のため、**フェンスや防犯カメラ等の整備費補助**
- 保育士等の業務負担軽減のため、公立保育園の登降園管理、帳票作成、保護者連絡業務の**ICT化を行うシステム導入**（対象：公立保育園7園）
- 公立保育園、公立幼稚園へ緊急時の安全確保対策として、**AED整備**（公立保育園 9園、公立幼稚園 2園）
- 私立保育園等、私立幼稚園、認可外保育施設、学童クラブの緊急時の安全確保対策として、**AEDの整備費用を市独自に補助**（私立保育園等 14園、学童クラブ 9施設）

制度	概要	支援（助成）内容
<p>はなまき夢応援奨学金制度</p> <p>★拡充…R3年度分から、日本学生支援機構の給付奨学金採択者を対象者に追加併せて、日本学生支援機構の給付奨学金との併用可</p>	<p>●経済的事情により就学に向けた支援が必要な人を対象に、奨学金返還免除支援実施</p>	<p>返還金の全額を免除 ※市内居住期間内に限る</p>
<p>ふるさと保育士確保事業補助金</p>	<p>●市の奨学金制度を利用し、市内の認可保育所等（市立保育所を除く）で勤務する保育士対象に奨学金返還を支援</p>	<p>返還金の半額を助成</p>
<p>ふるさと奨学生定着事業補助金</p> <p>※花巻市奨学金（返還型）は、保護者が花巻市に住所を有している方、または市内児童養護施設入所の方で、世帯収入が基準額以下の方に対し、無利子で貸与する返還奨学金 【貸与額（学資金）】 高校生等：月額15,000円以内 大学生等：月額30,000円以内</p>	<p>●花巻市奨学金※を返還している方（これから返還する方含む）で、市内大学卒業後、市内居住の場合、奨学金返還を支援</p>	<p>返還金の半額を助成 ※市内居住期間内に限る</p>
<p>介護人材確保事業補助金</p>	<p>●市の奨学金制度を利用し、介護福祉士等の資格を取得。市内介護サービス事業所等に勤務する人対象 奨学金の返還を支援</p>	<p>申請年度に返還すべき額×申請年度における就業月数／12月×2分の1 ※就業を開始した月から、60月分限度</p>

事業名	内容	備考
<p>高校生おおはさま留学生受け入れ事業</p>	<p>● 国定公園早池峰山やユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財早池峰神楽など花巻市大迫地域の資源を活用</p> <p>⇒全国から岩手県立大迫高等学校の入学生 「高校生おおはさま留学生」 として受け入れ</p> <p>⇒花巻地域での生活や地域活動などに意欲を有する人材育成、地域振興</p> 	<ul style="list-style-type: none">▶ 居住 ホテルベルンドルフの客室を学生寮として提供▶ 食事 1日3食提供（昼食は弁当）▶ 通学 徒歩又は自転車での通学▶ 生活サポート <p>岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会会員が生活支援員となり、ホテルベルンドルフスタッフとともに留学中の生活全般をサポート</p> 

ホテルベルンドルフ（学生寮）

岩手県立大迫高等学校

■産科診療に必要な助産師・看護師の確保

市民が安心して出産することができる環境の維持⇒市内産科医療機関の助産師・看護師の就職支援

(支援の内容)

市内産科医療機関に就職した助産師・看護師の方には・・

- ・就職支援金支給
- ・就職支援金を貸付け（助産師の方）
- ・子どもを保育施設に預ける際の保育料を助成
- ・最大3年間、家賃を支援
- ・最大3年間、奨学金返還支援

○対象となる助産師(補助対象助産師)

- ・同一の市内産科医療機関に3年以上勤務する意思がある助産師
- ・岩手中部地域（花巻市、北上市、遠野市、西和賀町）の産科医療機関で助産師として勤務していた場合は、その産科医療機関を退職してから3か月以上経過していること。

○対象となる看護師(補助対象看護師)

- ・同一の市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があり、市内の産科医療機関に就職した時点で過去に看護師として産科診療に携わった経験を1年以上有する看護師。
- ・岩手中部地域の産科医療機関に看護師として勤務していた場合は、その産科医療機関を退職して3か月以上経過していること。

助産師等確保対策②

支援項目	概要	要件
就職支援金 給付	<p>▶対象</p> <p>①助産師または産科医療機関で産科診療に携わった経験を1年以上有する看護師で、市内産科医療機関へ就職するため県外から県内へ転入した方</p> <p>②助産師免許登録後6か月以上の助産師または産科医療機関で産科診療に携わった経験を1年以上有する看護師で市内の産科医療機関へ就職した県内在住の方</p> <p>③助産師免許登録後6か月未満の助産師（県内外問わず）</p> <p>▶支給額</p> <p>①100万円 ②30万円 ③100万円 ※1人1回まで</p>	<p>同一の市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があること</p>
就職支援金 貸付	<p>▶対象 産科医療機関において1年以上の分べん対応経験を有する助産師で、花巻市内の産科医療機関へ就職するために岩手県外から県内へ転入した方</p> <p>▶貸付額 100万円 (3年以上助産師業務を継続したときは、返還免除)</p>	<p>同一の市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があること</p>

助産師等確保対策③

支援項目	概要	要件
保育料支援	<p>▶対象 0歳～2歳児の保育料</p> <p>▶助成額 第一子：月額保育料の1/2（上限1万6千円） 第二子：月額保育料の1/2（上限8千円）</p>	<p>同一市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があること</p>
家賃支援	<p>▶対象 自ら、または生計同一者が支払っている家賃</p> <p>▶助成額 （月額家賃（上限4万円）－勤務先からの住居手当）×補助率（※）</p> <p>※補助率 1年目 1/2、2年目 1/3、3年目 1/4</p>	<p>同一市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があること</p>
花巻市奨学金返済支援	<p>▶対象 助産師または看護師の資格を取得するために借り受けた花巻市奨学金</p> <p>▶助成額 返済月額額の1/2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同一市内産科医療機関に3年以上勤務する意思があること
奨学金返済支援 （市奨学金以外）	<p>▶対象 助産師または看護師の資格を取得するために借り受けた奨学金のうち花巻市が指定するもの</p> <p>▶助成額 返済月額額の1/2（上限1万円）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の市税に滞納がなく、3か月以内に奨学金の返還に滞納がないこと